



♡まんまるはーと♡

第6号

認定こども園和光幼稚園

平成29年10月31日

主幹 宮園 貴子



【人を支える経験】

10月8日に行った運動会では、子どもたちから、たくさんの感動をもらった一日となりました。

年長児での組体操は、太鼓の合図と子どもたちの演技がピタリと調和した素晴らしい発表となりました。一方、子どもたちが立派にできることも大切ですが、練習の過程も子どもたちの成長の一步一步となります。



例えば、3人組の『ピラミッド』で大事なことは、下で支える側になった時の重さやつらさを思い出し、上に乗る時に、負担をかけまいとバランスをうまく取ろうと思う気持ちです。それは、上に乗ることで、下で支えることを経験して初めて生まれます。そして、友達と互いに姿を見合うからこそ、もっとかっこよくやろうという気持ちもうまれます。

年中児が行ったバルーン競技も同じことがいえると思います。

練習を積み重ねていく過程の中で、友達と息を合わせ、協力することの大切さを学んだこそ『熱気球』や、最後のボール飛ばしの成功がありました。



年少児・年少少児も友達の存在を喜び、一緒に遊戯や競技を行う頼もしい姿がみられました。

入場行進も友達のことを考え、支えている気持ちがあるから、前の友達の姿を見て、かっこよく歩こうという気持ちが生まれていたのではと思います。

2学期は、1年の中で最も長い学期です。だからこそ、友達と過ごす時間も充実してい

きます。会話をしたり、遊んだり、時には喧嘩もし、折り合いをつけながら、相手の気持ちになって考える力も育っていきます。

子どもなりに人を支える経験、友達を応援して自分も嬉しくなる経験、ルールが安全につながる経験、緊張感の中で自分の限界に挑もうとする経験などをおして、人は支え合って生きていくことを学んでいきます。

【先生のお二ね♪】

先日の自由活動時、園庭に出て子どもたちの遊ぶ様子を見ていました。すると、急に背中にタッチをされ『先生のお二ね♪』と声をかけられました。振り返ると年中児の男の子が笑顔で走り抜けていきました。どうやら、シippo取りゲームを始めたようです。見渡すと、数名の子どもたちも参加していました。

オニと言われた私は、シippo（帽子）を取ろうと必死になって子どもたちを追いかけますが、子どもの足の速さ、逃げる上手さに翻弄されてしまいました。そんな私の姿を見かねてか、『先生！私もオニになってあげる！』と、協力者が現れました。その他、『仲間に入れて♪』と、様々なクラスの子も子どもたちが集まってきました。

「何か面白いぞ」と直感で見ることから、年齢やクラスを超えた遊びにつながっていくのだと思いました。その姿を見守りながら、子どもたちの遊びを膨らませ、子どもたちの眼差しの先にある喜びや豊かな学びへとつながるきっかけを作る教師でありたいと思います。

